



養老町制施行70周年記念 生ごみ減量のための町民公開講座のご案内

生ごみの80%は水分です。そのままごみとして出すと焼却効率が悪く、多大な経費がかかります。生活と環境を考える会では、EM(有用微生物群)を活用したボカシを使って生ごみを良質な堆肥へと変え、家庭菜園や花壇づくりに活用して楽しんでいます。そのまま川に流すとヘドロの原因となる米のとぎ汁も、花や野菜、木にとっては栄養満点の肥料となります。なんでもごみにするのではなく、有効に活用していきましょう。

開催日時 6月28日(金) 12時45分 ~ 15時30分

開催場所 町中央公民館 中ホール

内 容 もったいないバザー 12時45分 ~ 13時15分

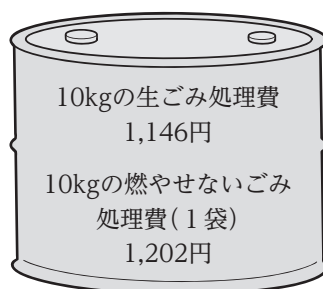
菜園講座「夏野菜の管理と秋野菜の種のまき方」 13時15分 ~ 15時30分

講師 柳瀬 正俊 氏

・ボカシを活用した生ごみ堆肥で土作り、夏野菜の管理と秋野菜の種のまき方などについての実演をまじえながらの講演と質疑応答を行います。

主 催 生活と環境を考える会 会長 佐竹 ☎32-2386

令和4年度 令和5年度
1人あたりの燃やせるごみ処理費
21,134円 → 21,884円
プラスチック製容器包装搬入量
87.24トン → 82.93トン



生ごみは堆肥として
畑へ
微生物の力で安心・
安全に野菜をつくっ
てごみをゼロに

円安や物価上昇などの影響を受け、ごみの処理費は高くなっています。燃やせるごみとして出している生ごみやプラスチック製容器包装は分別収集し、資源として再利用することで“ごみ”ではなくなります。分別回収を推進していくうえで大切なのは「皆さま一人ひとりの心がけ」です。

☎ 生活と環境を考える会 ☎32-2386
住民環境課 ☎32-1104

病児・病後児保育を実施しています

病児・病後児保育事業は、病気やケガで集団生活が難しく、保護者が勤務・疾病などにより家庭で保育が困難な児童を一時的にお預かりする制度です。3人以上のお子さまを扶養する世帯は補助金もありますので、そちらもご活用ください。※協定の締結により岐阜市、羽島市、海津市の施設が利用できます。※利用には事前登録が必要です。詳しくは実施施設にお問い合わせください。

海津市	『こまの認定こども園』	☎0584-55-0416
羽島市	『病児保育室かみなりくん』	☎058-394-0112
岐阜市	福富医院『すずらん』	☎058-238-8555
	河村病院『クララ』	☎058-241-3311
	小牧内科クリニック『ピノキオ』	☎058-215-0101
	山田病院『ミッキー』	☎058-255-1221
	矢嶋小児科『うりぼう』	☎058-214-7077
	操健康クリニック『パンダのしっぽ』	☎070-1683-3003
	世界ちゃんとモゲル丸先生の元気なクリニック『セカモゲ』	☎058-216-3745

☎ 子ども課 ☎32-5078